

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 教員採用試験合格者の声等 METTS 事業報告

前月号では、今年度の教員採用試験合格者数一覧と千葉県現役合格者3人の声をお伝えしましたが、今月号では東京都の現役合格者と千葉県の合格者(卒業生)の声をお伝えします。

東京都教員採用試験合格者**奥山未彩さん(中高国語)**

METTSの先生方の熱心な御指導、サポートのおかげで自信をもって採用試験に臨むことができました。自分がやってきた努力の成果が、合格という形で実り大変嬉しく思っています。

**高橋勇氣さん(中高英語)**

METTSの先生方の熱心なサポートと一緒に頑張った仲間たちのおかげで合格することができました。METTSの先生方の継続的なサポートに感謝の気持ちでいっぱいです。これからは教員として働く上で自分磨きを頑張ります。

**庭山航瑠さん(中高英語)**

夏休みに毎日練習した成果をしっかりと発揮して合格することができました。先生方の手厚いサポートにとっても感謝しています。これでゴールではなく、ここからスタートなので精進していきたいです。

**藤田祐也さん(中高英語)**

集団討論を苦手にしていて非常に不安でしたが、METTSの先生方が親身になってサポートしてくださったお陰で合格まで辿り着けました。達成感を感じています。

**千葉県教員採用試験合格者(卒業生)****錦織由佳さん(中学英語)**

今回合格できて努力が報われたと感じました。卒業した私でも先生方にたくさんお世話になり、だからこそ合格できたと感じています。感謝を忘れずに頑張っていきたいです。

**佐藤里奈さん(高校国語)**

面接練習や模擬授業などの対策のおかげで、緊張せず自分の持ち味を出すことができました。卒業しているにもかかわらず、手厚い支援と温かい言葉を頂き感謝しています。

足立区マスター講座修了者英語成果発表会

10月31日、浦安キャンパスにて第3回目となるSpeech Presentation Contest for the Completion of the Adachi English Master Programが開催されました。これは、足立区との連携協定に基づき実施している、足立区英語マスター講座を修了した者がその成果を発表とする場として開催されており、今回は、6人の足立区の中高生が参加しました。6人は、約60人の聴衆の前で立派にスピーチやプレゼンテーションを行いました。例年同様に充実した内容がたくさんあり、聴衆の大きな拍手が会場いっぱい広がっていました。中高生は、Q&Aタイムで審査員である本学Patrizia Hayashi教授、Tyson Rode准教授の質問にも堂々と答えていました。また、本学教職課程履修の英米語学科2年生の内山瑞貴さん、川元麻衣さん、上原二葉さん、児島晴香さんが、中高生にモデルスピーチを披露しました。コンテストの最後には、表彰式を実施して、高野敬三副学長からThe Most Persuasion賞など三賞が授与されました。



撮影のためマスクを外しています。

明海大学あけみ英語村2021 足立入谷小学校

10月21日、足立区との教育連携事業の一環として「明海大学あけみ英語村2021～小学生異文化交流プロジェクト～」第2回を開催しました。前回の興本小学校と同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン形式で開催し、足立区立足立入谷小学校5年生24人と本学の外国人留学生日本人学生約25人が参加し、英語を使ったコミュニケーションや参加した留学生の母国を紹介する異文化交流が行われました。パソコンのモニター越しでの交流となりましたが、文化や世代を超えたコミュニケーションは、小学生にも大学生にも貴重な経験となりました。



千葉県教員採用試験説明会開催

10月21日、3学年の教職履修者対象の大学生向け出前講座「先生っていいもんだ！」が開催され、26人の学生が参加しました。講師は千葉県教育委員会教職員課任用室の鶴野澤博管理主事でした。千葉県の求める教師像、教育施策、教員研修、今年度の千葉県教員採用候補者選考の詳細を説明していただきました。学生の中には千葉県以外にも他都県を受験する者もあり、受験する上での参考になったと思います。参加した学生は、「まだ3年だと思っていましたが、先日のガイダンスの話を聞いたり今日の説明をお聞きし、すでに採用試験勉強は始まっているのだと思いました」（日本語学科3年男子）「私は東京都の採用試験を受ける予定ですが、千葉県の説明を伺い、千葉県の魅力を知ることができました。これから最終的にどちらを受験するか決めたいと思います」（英米語学科3年女子）等の感想を聞くことができました。



第66回文部科学大臣杯全国青年弁論大会に2人の学生が登壇

11月14日、愛知県一宮市の修文大学において標記の大会が開催されました。日本弁論連盟主催の本大会は、66年の歴史を誇る弁論会では最古の伝統ある大会です。本大会に、本学日本語学科3年の浦野遥風さん、同3年の尾高楓さんが、予選を勝ち抜き本選に出場しました。浦野さんは「縄文の心、現代の心」の演題で、尾高さんは「ディズニー映画『ズートピア』から学んだこと」の演題で登壇しました。本選の結果はニューズレター12月号で報告いたします。（左：浦野さん 右：尾高さん）



教員採用試験模擬試験スタート

11月4日、教員を目指している3年生34人を対象とする教員採用試験模擬試験を行いました。3年生にとっては初めての外部模擬試験で、緊張した雰囲気の中で教職教養と一般教養の問題に取り組みました。受験した学生からは、「想像していた以上に出題の範囲が広く、計画的に準備をしていく必要があると思った」等の声が聞かれました。



都立飛鳥高校日本語指導研修会

10月22日、教育連携に基づいて東京都立飛鳥高等学校で日本語指導研修会が開催されました。講師は本学の木山三佳外国語学部教授が務めました。当日は、「教科学習と日本語指導」をテーマとして実践的研修を展開しました。



アゴラ活用状況（人）	
10月	520
2018年からの延べ数	36,590